

問 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

宗教と政治が分離しなければならないという考えや制度を、日本人が当たり前のこととして考えるようになったのはいつからであろうか。

①政教分離は国家原理の基本中の基本であり、これ以外の宗教と政治、あるいは宗教と国家の関係は考えられないほど、現在の日本社会において政教分離は至上原理となっている。事実この制度は、政教分離原理主義と呼ぶに相応しいくらい、制度上は神経質に護られており、また護ることが是とされている。そしてこの考え方は、日本社会を限なく覆っている。

しかし、その実、この一部の人に言わせれば「押しつけ憲法」によって定められた政教分離の原則を、日本人は心底から受け入れているわけではない、ということは案外意識されていない。あるいは、建前ではこの近代的概念に従いつつ、②本音の部分では従来の概念を維持するために、あえて本音の部分は無意識下に追いやっているのかもしれない。

いずれにしても、この本音と建前のギャップの大きさが、現在日本社会や日本人の心の混乱を招いている大きな原因の一つではないか、と筆者は考えている。

そもそも、自らの国を「神国日本」、^{あきつ かみ}『現津神・現御神（天皇）』が治める『神の国』と称して、他に類を見ない「神の国」「大和の国」の神聖性を主張したのは、ほかならぬ60年少し前までの我々日本人ではなかったか。果たしてその時、宗教と国家の結びつきを疑う日本人が、どれほどいたであろうか。③宗教と国家の分離が、近代文明の普遍的原理であると考えていた人がどれほどいたであろうか。

もちろん、当時、④神道を宗教とは政策上言わなかったが、この神道と大日本帝国の関係を疑問視する人々は、恐らく一部の西洋文明を至上とするインテリや唯物論者等、ごく少数に限られていたのではないだろうか？

少なくとも筆者の両親を含めて（というのも残念ながら⑤筆者は 1956 年生まれなので）第二次世界大戦当時成人していた a 臣民（この言葉は最近すっかり耳にしなくなった言葉であるが、「天皇陛下の^{せきし}赤子」という言葉とともに、第二次世界大戦以前の日本社会の精神性を考える上で重要である）、つまり一般の人々の心情は、神国・皇国日本という意識を基本としていたことは、疑いの無い事実である。

この神国日本という思いは、⑥第二次世界大戦の敗戦とともに急激に縮小し、さらに「天皇陛下の『人間宣言』や現行憲法のハッ ^(ア) ズによって、精神的にも、制度的にも

現行の政教分離主義に劇的に移行した。

しかし、ここで重要なことは、このような変化に関して、その根本的な点で十分な議論がなされてきたのか、ということである。つまり、政教分離という原則に関しても、それがどの程度普遍的であるのか、ということや、その歴史、日本における適用の過程まで、日本社会全体で果たしてどれほどの議論がなされてきたのであろうか。はなはだ疑問である。

特に、靖国神社の問題が急激に政治・外交問題になってきた昨今の議論には、日本人が宗教と政治ある或いは国家をどのように考えてきたか、という基本的なスタンスが欠落しており、そのために議論が根本的なところにとどかず表面的なところで空回りしているように思われる。本書が、そのような日本の現状に関して、少しでも益することがあればと考えている。

現在の日本人が国家と宗教を考える時、重要なテン(イ)キは過去に4回、大きく3回認められる。古代社会において、高度な外来文明を伴ってや遣って来た仏像の定着、そして江戸時代を通じて定着した儒教、特に**朱子学的な発想**、さらに**明治以降の近代西洋文明とそれを支えたキリスト教文明の定着**、これに加えれば敗戦後の**アメリカ式のプラグマティックな思想**の4つである。

まず最初の変革である仏教を中心とする仏教文明の受容は、周知のようにおおむね平和的に行われた。c **聖徳太子**の言葉を借りれば、仏教およびその文明を受け入れることは、「四方の極宗（世界の常識，グローバル・スタンダード）」を受け入れることであった。聖徳太子以下、当時の為政者は自らの意志で仏教文明を受け入れ、その後この政策は基本的に、明治の廃仏毀釈まで日本の国家原理の中核となった。

次の変化は、儒教、特に朱子学の導入であろう。豊臣秀吉主導で行われた朝鮮の役は、朝鮮半島の人々のみならず自国民をもヒ(ウ)ヘイさせることとなり、その反省からということもあったと思われるが、江戸幕府は朱子学を朝鮮から導入し、国家のいしづえ礎、特に統治理念とした。このことが、近世から近代における日本の政治と宗教、国家と宗教の関係において、二重構造を形成する。つまり、庶民レヴェルにおける仏教国（なお当時は神仏習合であった）的発想と、支配者レヴェル・統治構造レヴェルでの朱子学の発想というギャップである。

①両者は江戸幕府時代を通じて住み分け的に役割分担を行ってきたが、やがて両者の間に軋轢あつれきが生じ、両者の対立が先鋭化する中で、江戸末期には①国学**と呼ばれる神道主導の国粹主義思想も生まれ、宗教と国家の関係は、いっそう複雑になる。**

さらに、西洋文明、つまり近代キリスト教文明の流入を迎え、明治新政府は1250年に及ぶ仏教的伝統を切り捨て、復古主義と呼ばれる天皇親政の神権政治をはじめ。

⑫近代国家日本のはじめは、まさに古代社会さながらの神権政治を理想としており、民衆にもこの精神を植え付けた。つまり、神話世界と明治新政府の連続性を創出し、政治的正統性確立の手段としたのである。さらに、祭政一致の神権政治の正統性意識を人々の心に植え付け定着させるために、これを文化的にも推進したのである。

特に、この時仏教伝来以来の緩やかな政治と宗教の連帯性を断ち切った廃仏毀釈は、国学の主導のもとでひきおこされたが、この時政治と宗教は「天皇」の名の下に再結合というか、かつてないほどの強い結合が創造された。祭政一致の天皇親政という政治スタイルである。

以来、日本人の近代的アイデンティティは、全ての人々が戒名をもつという仏弟子的発想から、神の末裔^{まつえい}天皇の赤子、神国日本の臣民というd一種の選民思想にとって代わられた。

奈良朝以来、江戸幕府終焉まで、天皇を頂点とする仏教信仰が日本社会を支えてきた。日本人の多くが仏教徒を自覚し、少なくとも死にゆく時には仏教徒として戒名（没後作僧）を受け、死出の旅路に旅立っていった時代である。この時代は政治の理念にもそれが少なからず反映していたはずであり、天皇を頂点とする信仰と政治のゆるやかな一体化が実現していたのである。日本の天皇が権威のみで永続してきた背景には、仏教擁護者の長として崇められていたこと、また天皇自らも敬虔^{けいけん}な信仰者（出家などは退位してから）として質素な仏教徒としての生活を送られたという要因があったのではないかと思われる。もちろん、神道の祭主という立場も重要であった。

つまり、天皇はじめ日本の為政者は、形ばかりであるとの指摘も無いではないが、しかし、彼らが仏教文化・文明を中心的に支えてきたということは事実である。だから、戦いが終わった後には、敵味方の区別無く^(正)クヨウし慰霊した。これを怨親^{おんしん}平等の思想という。この思想は「元寇」の折、外国人の敵兵にさえ適用された。

確かに、仏教と政治の結びつきは、キリスト教、イスラーム、そして儒教のような一体不可分の関係ではなく、為政者の道徳心や慈悲心に訴えるという緩やかなものである。つまり、e一種の徳治主義であり、神威にひれ伏させる、あるいは武力的、強圧的に支配するというような目に見えて明らかな支配形態はとらない。

しかし、それ故にまた仏教（特に日本において）では宗教、宗派の違いから深刻な紛争に発展するというようなキリスト教・イスラームの伝統に見られる宗教戦争は起こら

なかった。実は、現在の政教分離制度は、カトリック派とプロテスタント派の熾烈な正統性争い、宗教戦争への反省から生まれたという側面が強く、それ故に現在のキリスト教徒は、これを重視する。

一方、同じセム族の宗教であるイスラームは、基本的に信仰の正統性争いという視点は乏しく、故に宗派の違いから、魔女狩りや宗派間の大規模な紛争は起こらなかった。イスラームでは、セム的宗教の大原則に従って政教一元（タウヒード）の政治思想を堅持しており、両者を区別しようとする政教分離思想とは相容れない。このような①イスラーム的政治制度を国教として導入している国は、現在約 40 カ国ほどあり、国連加盟国中の 20 パーセントにもなる。

これらの国では、政治と宗教の分離という思想を持たず国家運営を行っているし、かつてのイスラーム文明の繁栄も、その原則の上に花開いていた。特に、イスラームは 8 世紀から 16 世紀頃まで、世界の大部分で政治的・文化的ヘゲモニーを握っていたのであり、その存在は無視し得ないものである。

つまり、

あ

。

【出典】保坂俊司『国家と宗教』（2006 年，光文社）

問1 下線部(ア)～(エ)を漢字に改めた場合、同じ漢字を含むものを次の各群の選択肢①～⑤のうちから一つずつ選べ。

(ア) ハップ

- ① シンプのお説教を聞く
- ② バスのキップを買う
- ③ オンブが読める
- ④ ゲップで支払う
- ⑤ 患部にシップする

(イ) テンキ

- ① キカン限定の商品
- ② 人情のキビを知る
- ③ キカイな事件が起こる
- ④ 試合をキケンする
- ⑤ 実力をハッキする

(ウ) ヒヘイ

- ① 放射線をシャヘイする
- ② オウヘイな態度をとる
- ③ カヘイ価値が下がる
- ④ 身体にヘイガイを及ぼす
- ⑤ 隣村をヘイゴウする

(エ) クヨウ

- ① キョウジュツ書を出す
- ② キョウジンに倒れる
- ③ キョウラクにふける
- ④ 悪癖をキョウセイする
- ⑤ 風のエイキョウを受ける

問2 下線部②に関連して、次の文章中の空欄「ア」・「イ」に当てはまる語句の組み合わせとして最も適当なものを、下の①～④のうちから一つ選べ。

第二次世界大戦後の日本において、地方公共団体の行為が日本国憲法の規定する政教分離の原則に違反していないかが争点になった裁判はいくつかある。その一つで、地方公共団体が神社に対して公金を支出したことが合憲か違憲かが争われた住民訴訟として「ア」がある。この訴訟において、1997年に、最高裁判所は目的・効果基準を採用しつつ、当該の地方公共団体の行為は、慣習化した社会的儀礼にとどまらず、「その目的が宗教的意義を持つことを免れず、その効果が特定の宗教に対する援助、助長、促進になると認めるべきであり」、地方公共団体とその神社とのかかわり合いが「我が国の社会的・文化的諸条件に照らし相当とされる限度を超えるもの」として、「イ」とする判決を下したのである。ただし、この最高裁の判断は、15人の裁判官の全員一致の意見ではなく、反対意見を表明した裁判官もいたのであった。

- | | | | | |
|---|---|----------|---|----|
| ① | ア | 愛媛玉ぐし料訴訟 | イ | 合憲 |
| ② | ア | 愛媛玉ぐし料訴訟 | イ | 違憲 |
| ③ | ア | 津地鎮祭訴訟 | イ | 合憲 |
| ④ | ア | 津地鎮祭訴訟 | イ | 違憲 |

問3 下線部⑥に「本音の部分では従来の概念を維持するために、あえて本音の部分を無意識下に追いやっているのかもしれない」とあるが、それはどういうことか。その説明として最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。

- ① 日本人がむやみに本音を露わにしないのは、神代の時代から続く日本人の精神構造であり日本の伝統でもあるということ。
- ② 世界的に認められた法的秩序であっても、意識化にある思想・信条の自由や良心の自由を侵害することはできないということ。
- ③ 国家原理の基本中の基本である政教分離という至上原理も、無意識の領域の思想まで統制することはできないということ。
- ④ 至上原理である政教分離の原則による批判にさらされないように、宗教と国家を結びつける思想を表には出さないということ。
- ⑤ 時代錯誤的であり日本社会に広く受け入れられそうにもないので、「神国日本」という考え方をあからさまにはしないということ。

問4 下線部㉓に「宗教と国家の分離が、近代文明の普遍的原理であると考えていた人がどれほどいたであろうか」とあるが、それはどういうことか。その説明として最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。

- ① 自らの国を「神の国」であると表現し、そこに日常とはかけ離れた特別な庇護ひごさえあると信じていた人々にとって、政教一致は新しい政治理念であり、現代にも共通する政教分離を理解する人は、国民にはほとんどいなかったということ。
- ② 神の存在を理解し現実のものとして信じることは、人々にとって戦争の恐怖を超克するために必要不可欠であるため、当時の実情に反する政教分離の考えをとなえる人は、一部の知識人を除いてほとんどいなかったということ。
- ③ 西洋の考え方・物事のとらえ方を、進んだ考え方であるとし、優先してきた人々しか、自らの国が「神の国」であり、特別な庇護を受けているという考えに疑問を持つことができず、神道と国家の在り方への疑問を全体化できていなかったということ。
- ④ 自らの国を「神の国」であると、宗教と国家を一体化して考えるということは、当時としては当然のこととして受け入れられており、西洋的な視点を持つことによって、その考えを相対化することができる人はほとんどいなかったということ。
- ⑤ 現在から見れば、自らの国を「神の国」であるという表現をし、そこに特別な神性を抱くことは、幻想的すぎると非難することは可能であるが、当時の国家主義的な空気の中では、その発言は阻害されていたということ。

問5 下線部㉔に関連して、神道を宗教とは政策上言わなかったのはなぜか。その説明として最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。

- ① 神道では一神教の神とは違って、様々な神々（八やおよろず百万の神）が崇められ信仰のあが対象とされているから。
- ② 開祖が存在せず、経典や具体的な教えもなかったので神道は宗教とは別のものとしてとらえていたから。
- ③ 国と神道各派との間で神道を宗教とは呼ばないという政策協定が明治の始めにでき、合意を得ていたから。
- ④ 神道を宗教としてとらえることは政教分離の原則に反するとみなされ、近代国家としては不都合だったから。
- ⑤ 神国・皇国という意識は、西洋文明を至上とする一部のインテリや唯物論者等によって疑問視されていたから。

問6 下線部㉔に関連して、次の資料は、筆者の生まれた1956（昭和31）年7月に報告・発表された経済白書の一部である。これを読んで、下のA～Dの問いに答えよ。

戦後日本経済の回復の速かさには誠に万人の意表外にでるものがあつた。それは日本国民の勤勉な努力によつて培われ、a 世界情勢の好都合な発展によつて育まれた。

しかし敗戦によつて落ち込んだ谷が深かつたという事実そのものが、その谷からはい上るスピードを速からしめたという事情も忘れることはできない。経済の浮揚力には事欠かなかつた。経済政策としては、ただ浮き揚る過程で国際収支の悪化やb インフレの壁に突き当るのを避けることに努めれば良かつた。消費者は常にもつと多く物を買おうと心掛け、企業者は常にもつと多く投資しようと待ち構えていた。いまや経済の回復による浮揚力はほぼ使い尽された。なるほど、貧乏な日本のこと故、世界の他の国々にくらべれば、消費や投資の潜在需要はまだ高いかもしれないが、戦後の一時期にくらべれば、その欲望の熾烈さは明かに減少した。c もはや「戦後」ではない。われわれはいまや異つた事態に当面しようとしている。回復を通じての成長は終つた。d 今後の成長は近代化によつて支えられる。そして近代化の進歩も速かにしてかつ安定的な経済の成長によつて初めて可能となるのである。

A 下線部aに該当するものとして最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- | | |
|-----------------|-------------|
| ① アメリカ発の世界恐慌の終息 | ② 朝鮮戦争による特需 |
| ③ ブレトン・ウッズ体制の崩壊 | ④ 米ソ冷戦の終結 |

B 下線部 b に関連して、戦後の占領期には一時期インフレが激しく進行した。この時期のインフレの進行や経済政策に関して述べた次の文 I～III について、古いものから年代順に正しく配列したものを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。

- I GHQは経済安定九原則の実行を指令し、インフレを収束させようとした。
- II 幣原喜重郎内閣は金融緊急措置令を発し、インフレの進行を食い止めようとした。
- III 傾斜生産方式の採用によって巨額の資金が供給され、インフレが進行した。

- ① I－II－III ② I－III－II ③ II－I－III
- ④ II－III－I ⑤ III－I－II ⑥ III－II－I

C 下線部 c に関して、「もはや戦後ではない」の解釈として明らかに適当でないものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 戦後の経済混乱の時期は終わった。
- ② これまでの経済成長を支えてきた要因はなくなった。
- ③ まもなく占領が終わり、独立を回復しようとしている。
- ④ 日本経済は新たな段階に入ろうとしている。

D 下線部 d に関連して、この資料の時期以降の日本経済や政府の経済政策に関して述べた次の文 I～III について、古いものから年代順に正しく配列したものを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。

- I 東京オリンピックに向けた公共投資などを要因とした好景気が起こった。
- II GNP（国民総生産）が資本主義諸国のなかでアメリカに次いで第2位となった。
- III 池田勇人内閣が、国民所得倍増計画を閣議決定した。

- ① I－II－III ② I－III－II ③ II－I－III
- ④ II－III－I ⑤ III－I－II ⑥ III－II－I

問7 下線部①に関連して、次の文章を読んで、下のA～Cの問いに答えよ。

1945年8月14日にポツダム宣言を受諾した日本は、その後、連合国軍最高司令官総司令部（GHQ）の占領下に入る。占領の方式は、最高司令官から命令が日本政府に伝えられ、日本政府は責任を持って実施する間接統治方式であった。この間接統治のもとで、日本は戦後改革を実施していくことになる。

政治の分野では、GHQ草案をもとに作成された日本政府の憲法改正案が帝国議会において審議され、1946年11月にa 日本国憲法が成立・公布された後、翌年5月に施行されたのであった。経済の分野では、いわゆる経済の民主化が実施された。企業間の競争を高めるために、戦前の日本経済を支配していた財閥は解体されることになり、それぞれの $\boxed{\text{ア}}$ が解体された。また、労働の民主化においては、労働者の労働条件などを改善するために、労働基準法や $\boxed{\text{イ}}$ などが制定された。さらに、農地改革もおこなわれた。

このような改革を経て、日本が独立を回復するのは、b サンフランシスコ平和（講和）条約に調印した後の、1952年4月のことであった。

A 文章中の空欄 $\boxed{\text{ア}}$ ・ $\boxed{\text{イ}}$ に当てはまる語句の組み合わせとして最も適当なものを、下の①～④のうちから一つ選べ。

- ① ア 合同会社 イ 労働契約法
- ② ア 合同会社 イ 労働組合法
- ③ ア 持株会社 イ 労働契約法
- ④ ア 持株会社 イ 労働組合法

B 下線部 a に関連して、大日本帝国憲法（旧憲法）と日本国憲法（新憲法）がそれぞれ規定している内容についての記述として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 内閣は、旧憲法では天皇の協賛機関であったが、新憲法では主権を維持するために活動する国権の最高機関であると規定された。
- ② 旧憲法では、帝国議会は貴族院と衆議院の二院から成立していたが、新憲法では、国会は衆議院と参議院の二院から構成されると規定された。
- ③ 地方自治は、旧憲法では地方自治の本旨に基づいて運営されることになっていたが、新憲法では地方分権を推進するために運営されると規定された。
- ④ 旧憲法では、軍法会議などの特別裁判所を認めていなかったが、新憲法では、知的財産高等裁判所を特別裁判所として設置すると規定された。

C 下線部 b に関連して、1951 年のサンフランシスコ講和会議に首席全権として出席し、サンフランシスコ講和条約に調印した首相として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 佐藤栄作 ② 池田勇人 ③ 吉田茂 ④ 田中角栄

問8 下線部㉔に関連して、明治期以降のキリスト教に関する次の文章を読んで、下のA～Cの問いに答えよ。

明治新政府は1868年、新政府の方針を示した五箇条の誓文公布の翌日、五榜の掲示を掲げ、江戸幕府と同様にキリスト教を厳禁した。この後政府は長崎の「隠れキリシタン」を迫害したが、これは列国の抗議をよび、a 条約改正交渉の障害ともなったことから、1873年にはキリスト教禁止の高札を撤廃し、キリスト教を黙認することにした。これを機に、新旧各派の宣教師が日本人に対する布教を行うようになり、b 青年知識人を中心にキリスト教信仰が浸透していった。1889年に公布された大日本帝国憲法では信教の自由が認められたが、この頃から国家主義の風潮が高まり、これを背景にc キリスト教に対する圧迫が加えられたこともあった。

A 下線部aに関連して、条約改正交渉に関して述べた次の文X・Yと、それに該当する語句ア～エとの組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。

X 鹿鳴館で舞踏会をもよおすなど欧化政策をとり、条約改正交渉をすすめた。

Y 日清戦争直前に、領事裁判権を撤廃することを約した条約に調印した。

ア 大久保利通 イ 井上馨 ウ イギリス エ ロシア

① X—ア Y—ウ

② X—ア Y—エ

③ X—イ Y—ウ

④ X—イ Y—エ

B 下線部 b に関連して、青年知識人に影響を与えた外国人教師や、その影響を受けたキリスト教信者に関して述べた次の文 X・Y と、それに該当する人物ア～エとの組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。

X 開拓使の招きで来日した農学者で、札幌農学校の教頭としてキリスト教精神に基づく教育をおこなった。

Y 札幌農学校でキリスト教に入信したのち、農学者・教育者として活躍し、国際連盟の事務局次長にも就任した。

ア クラーク イ ジェーンズ ウ 吉野作造 エ 新渡戸稲造

- ① X—ア Y—ウ ② X—ア Y—エ
③ X—イ Y—ウ ④ X—イ Y—エ

C 下線部 c に関連して、天皇の署名のある教育勅語に拝礼を拒否したとして教壇をおわれたキリスト教徒として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 幸徳秋水 ② 久米邦武 ③ 内村鑑三 ④ 徳富蘇峰

問9 下線部①に関連して、次の文章中の空欄 **ア** ～ **ウ** に当てはまる語句の組み合わせとして最も適当なものを、下の①～④のうちから一つ選べ。

プラグマティズムは、19世紀後半～20世紀初頭にアメリカで発達した。**ア**は、抽象的な思考ではなく、**イ**によって経験的に検証された結果によって決まるとし、真理を実用的な価値としてとらえた。大成者とされる**ウ**は、知性の役割を重視した。知性は人間の行動に役立つとする彼の思想は、道具主義とも呼ばれ、教育学に大きな影響を与えた。

- ① **ア** 観念 **イ** 行為 **ウ** ニーチェ
② **ア** 観念 **イ** 行為 **ウ** デューイ
③ **ア** 行為 **イ** 観念 **ウ** ニーチェ
④ **ア** 行為 **イ** 観念 **ウ** デューイ

問 10 下線部①に関連して、江戸時代における仏教の役割などに関する次の文章を読んで、下のA～Cの問いに答えよ。

江戸幕府は、はじめキリスト教を黙認していたが、信者の増加やキリスト教国による侵略を恐れて方針を転換し、信者を迫害するようになった。さらにキリスト教禁止の徹底をはかるために a 日本人の海外渡航を制限し、九州で起こった **ア** を契機に **イ** 船の来航を禁止するとともに、 b 寺院を利用してキリスト教の根絶をはかることにした。この結果、人々は寺院との関係を深め、葬式を寺院で行うことや、墓地を寺院に設けることが一般的となった。仏教は幕藩体制下の一機構として機能するようになり寺院は経済的に安定したが、一方では布教活動を行う必要がなくなり宗教としての活力は失われていった。

A 文章中の空欄 **ア**・**イ** に当てはまる語句の組み合わせとして最も適当なものを、下の①～④のうちから一つ選べ。

- ① **ア** 応仁の乱 **イ** イギリス ② **ア** 応仁の乱 **イ** ポルトガル
③ **ア** 島原の乱 **イ** イギリス ④ **ア** 島原の乱 **イ** ポルトガル

B 下線部 a に関連して、江戸初期には多くの日本人が海外に渡った。このことに関して述べた文として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 中国に渡った日本人僧侶によって、禅宗が伝えられた。
② キリシタン大名によって派遣された4人の少年使節が、ヨーロッパを訪れた。
③ 海外に移住した日本人によって、東南アジア各地には日本町がつくられた。
④ 朱印船のなかには、太平洋を横断してメキシコなどと貿易を行ったものもあった。

C 下線部 b に関連して、このことに関して述べた文として **適当でないもの**を、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 人々は、寺院の檀家になることが強制された。
② 人々は、寺院で仏教に関する教育を受けることが強制された。
③ 人々の生活では、寺院が檀家であることを証明する証文が必要とされることがあった。
④ 人々が所属する寺院を調査する宗門改めが行われた。

問 11 下線部①に関連して、次の文章を読んで、下のA～Cの問いに答えよ。

古学派の儒学が古典の直接的研究をしたことに影響を受け、日本の古典を学んで日本的な心性や道徳(古道)を主張する国学が生まれた。『万葉代匠記』を著したアや『語孟字義』を著したイに学んだ荷田春満によって始められた国学は、賀茂真淵によって発展した。馬淵に教えを請い、国学の大成者となったのが a 本居宣長 である。彼は外来の儒教・仏教の教えを漢意として否定して、「古道」を探求・主張した。

このように、実証的で自由な研究の在り方、自然な人間性を強調したが、復古的・排外的で、仏教・儒教などへの一面的な外来文化批判となった。平田篤胤が復古神道を完成させると、b 非合理的国粹主義の傾向を強めるとともに、人々に民族意識を目覚めさせ、明治維新の思想的原動力の一つとなった。

A 文章中の空欄ア・イに当てはまる語句の組み合わせとして最も適当なものを、下の①～④のうちから一つ選べ。

- | | | | |
|----------|--------|----------|--------|
| ① ア 契沖 | イ 伊藤仁斎 | ② ア 契沖 | イ 徳川光圀 |
| ③ ア 荻生徂徠 | イ 伊藤仁斎 | ④ ア 荻生徂徠 | イ 徳川光圀 |

B 下線部 a に関連して、本居宣長に関する説明として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 日本人は、無名の人々の文字によらない暮らしや考え方の中に、日本文化をみいださなければならないと説いた。
- ② 日本人は、素朴な高く直き心をもって暮らしていた古代の自然の道を回復しなければならないと説いた。
- ③ 『古事記』などの研究に基づいて独自の神道を広めるとともに、現実の生の背後にある靈魂の行方を論じた。
- ④ 日本人が大切にすべきは、自然な感情に素直に従って生きることであると説き、「もののあはれ」を『源氏物語』に見出した。

C 下線部bに関連して、はじめは攘夷論を主張していたが、後になって開国論を主張するばかりか「公共の天理」に則った国際平和主義を唱えた人物として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 佐久間象山 ② 藤田東湖 ③ 福沢諭吉 ④ 横井小楠

問12 下線部⑬に「近代国家日本のはじめ」とあるが、それはどのような国家だったと筆者は述べているか。その説明として最も適当なものを次の①～⑤のうちから一つ選べ。

- ① 政治と宗教は、「天皇」のもとに再統合されたと同時に、祭政一致の正当性と明治政府の神権政治の具現化という正当性を与えられた国家であった。
- ② 仏教と政治の分断を明確にしたことにより、古代国家を再生するものとしての特色を色濃く持つ国家であった。
- ③ 神話世界と明治政府の連続性を保ちつつ、天皇を頂点とする仏教国家としての統制を行ったため、仏教と神道を同時にあがめる国家であった。
- ④ 神国の臣民であるという、権力者により与えられた選民思想を国民に与えるところからスタートしたため、天皇は、神道の祭主としても権威づけられる国家であった。
- ⑤ 復古主義を掲げ、天皇を頂点とした政治と宗教の緩やかな連帯感を切り捨てたため、喪失感が生まれた国家であった。

問 13 下線部①に関連して、イスラム協力機構に加盟する国に関する次のA～Cの問いに答えよ。

A インドネシアについて述べた文章中の空欄 **ア**・**イ** に当てはまる語句の組み合わせとして最も適当なものを、下の①～④のうちから一つ選べ。

1927年に**ア**を党首とするインドネシア国民党が結成され、民族主義運動を主導した。翌年には、インドネシアという統一された祖国・民族・言語をめざす宣言がなされた。第二次世界大戦中、日本に占領された期間を経て、1945年8月には、**ア**を指導者としてインドネシア共和国の成立が宣言された。このときインドネシアの独立に反対した**イ**は軍事行動に出たが、1949年インドネシア共和国は独立を達成し、**ア**が初代大統領になった。

- ① **ア** スカルノ **イ** オランダ ② **ア** スカルノ **イ** フランス
③ **ア** スハルト **イ** オランダ ④ **ア** スハルト **イ** フランス

B エジプトについて述べた文章中の空欄 **ア**・**イ** に当てはまる語句の組み合わせとして最も適当なものを、下の①～④のうちから一つ選べ。

エジプトでは、1952年にエジプト革命によって王政が倒れ、共和国が樹立した。その後はナギブを追放した**ア**は、1956年に大統領に就任した。彼は国内の近代化を推進するため**イ**の建設をめざした。外交面ではアラブ連盟の盟主とし非同盟主義外交を展開させ、西欧諸国との関係が悪化することもあった。

- ① **ア** ナセル **イ** スエズ運河
② **ア** ナセル **イ** アスワン=ハイダム
③ **ア** サダト **イ** スエズ運河
④ **ア** サダト **イ** アスワン=ハイダム

C マレーシアについて述べた文章中の空欄 **ア**・**イ** に当てはまる語句の組み合わせとして最も適当なものを、下の①～④のうちから一つ選べ。

マレーシアは、第二次大戦後の 1957 年、イギリス連邦加盟のマラヤ連邦として独立した。その後、1963 年に周辺の旧イギリス植民地と合体してマレーシアとなった。しかし、マレー人優遇をめぐる政策が原因となって、1965 年には中国系住民を中心として **ア** が分離、独立した。1967 年には周辺 5 か国で **イ** を結成して地域協力をめざし、現在にいたっている。

- ① **ア** フィリピン **イ** ASEAN
- ② **ア** フィリピン **イ** MERCOSUR
- ③ **ア** シンガポール **イ** ASEAN
- ④ **ア** シンガポール **イ** MERCOSUR

問 14 次の本文中の二重下線部 a～e を、その表しているものによってグループに分けるとすれば、どのように分けたらよいか。最も適当なものを、下の①～⑤のうちから一つ選べ。

- a 臣民 b 朱子学的な発想 c 聖徳太子
- d 一種の選民思想 e 一種の徳治主義

- ① (a・b) (c・e) (d)
- ② (a・c) (b) (d・e)
- ③ (a・d) (b・c) (e)
- ④ (a・d) (b・e) (c)
- ⑤ (a・d) (b) (c・e)

問 15 本文の内容と合致しないものを，次の①～⑤のうちから一つ選べ。

- ① 第二次世界大戦後の日本では，政教分離原理主義と言えるほど，宗教と政治あるいは宗教と国家の問題に限らず社会に行き渡っている。
- ② 江戸幕府が朱子学を統治理念としたことによって，庶民レベルでの仏教国的な発想と，統治レベルでの朱子学的発想という二重構造が形成された。
- ③ 仏教と政治の結びつきは一体不可分のものではなく強圧的なものではなかったから，一神教に見られるような宗教戦争のようなものは起こらなかった。
- ④ 明治政府がそれまでの信仰と政治のゆるやかな一体化を排除し，神権政治を正当化したことはその後の日本社会に大きな不安と動揺をもたらした。
- ⑤ イスラームは政教一元の政治思想であったから，宗派の違いから魔女狩りや宗派間の熾烈な正当性争いや大規模な紛争が起こるということはなかった。

問 16 本文中の空欄 **あ** には，政教分離についての筆者の考えが入る。次の3つの語句をすべて使い，空欄に入る文を，60字以内で書け。

イスラーム的なタウヒード思想 近代的な政教分離主義 神道的な祭政一致